

子どもは毎日、様々な素材に触れ、創造力を働かせて造形活動(遊び)を楽しんでいます。かほく市では日々の造形活動(遊び)を通して「好奇心」や「感性」、「感じたことや考えたことを表現する力」、「創造性」を育み、子どもの『健やかな心と体の成長』を促すことを目的として取り組んでいます。

0歳児からの表現
ってどんなこと？



造形遊びってどん
なものがあるのか
知りたい！

子どもの表現どう受
け止めたらいいの？

職員で共有して、子
どもの学びにつな
げたい！



公開保育や検討会、実技研修、石川幼年美術の会などに
参加し、「造形」について学び合っています！

【公開保育・検討会】

毎年、かほく市公立こども園では日常の保育を公開し、職員間で学び合っています。他園の保育を実際に見たり、検討会では客観的な意見交換を行ったりすることで保育の質の向上を目指しています。



【実技研修】(楽しい教材研究!!)

保育者自身が様々な素材や用具に触れたり、使い方を工夫したりして遊び、発見や気づきを五感で楽しんでいます。その体験を発達や年齢に応じて日々の保育に取り入れ、子どもと楽しさを共有しています。



【石川幼年美術の会】

(自己研鑽の場?!)

講演会や世界児童画展の鑑賞、実技研修、子どもの絵を見ながらの勉強会を行う、とても欲張りな楽しい研修会です。

新たな素材に触れたり、思いもよらない遊び方を知ったり、多くの発見がある実技研修。子どもの絵を見ながら思いや育ちを探る勉強会。まず保育者自身が楽しむこと、また楽しさを共感した仲間との経験が、日々の活動のヒントや子どもに対する思いの共有、よりよい援助や言葉がけに繋がっていると感じています。

※【楽しさの軸】石川幼年美術の会にて和歌山信愛大学大橋功氏の講演会より

造形遊び・活動のすべてに【楽しさの軸】が必要だと学んだ！

楽しさの軸は大きく分けて4つある！

- ★であいをたのしむ
- ★みたてをたのしむ
- ★そうぞうをたのしむ
- ★つたえあうをたのしむ

これを保育に活かそう！

保育者自身も楽しみながら、子どもの“やってみたい”という意欲を引き出せるよう環境を工夫したり、主体性を育む造形遊び・活動を積極的に取り入れたりしています。

“ちびっこアート展より”



かほく市公立こども園では、ご自身のお子さまだけでなく、他のクラスの遊びの様子もご覧いただけるように、クラス前や玄関で、また、この様子を地域の方々とも共有したいと思い、イオンモールかほく、地区文化祭、かほく市生涯学習フェスティバル等、園外での展示も行っています。

子どもは感じたまま、ありのままの気持ちで伸び伸びとえがいたり、つくったり、遊んだりしています。ありのままの表現を受け止め、遊びのプロセスを知ったりお子さまとの会話を楽しんだりしてほしいという願いから、展示には個人名は控えさせていただいています。アート展をご覧いただき、「素敵な色だね」「これおもしろい！」「楽しそう！」など会話を楽しみながら素敵なひと時を過ごしてほしいと願っています。